

志教育の 視点	☒ かかわる ・ ☐ もとめる ・ ☒ はたす
------------	--

活動名	大崎耕土 世界農業遺産支援プロジェクト
教科・領域等	農業科、総合的な探究の時間、等
活動学年等	全学年
ねらい	大崎耕土の世界農業遺産の学びを通し、地域理解を深めると共に高校生が果たすことのできる支援活動を継続するなかで地域の課題を解決する力や自己有用感を育む。さらに異年齢との交流を通して人間関係形成能力の育成を図ることで地域の活性化の一助とする。

【実践内容】

〔志教育の視点〕

- ①様々な人とののかかわりを通して、コミュニケーション能力を身につけるとともに、他人を思いやる心を育む。
- ②ボランティア活動に参加し自分の役割を果たすことによって社会の一員としての自覚を持つ。

〔活動内容〕

1 大崎耕土世界農業遺産における高校生の支援活動

- ① 水管理について（農業用水清掃）
- ② 大崎耕土ツアー
- ③ 農業用ため池における生態系保全活動
- ④ 伝統野菜「鬼首菜」の生産販売ボランティア

2 年間活動（世代間交流とボランティア精神の涵養に向けた取組）

	内 容	連携・協力機関
4月	南原穴堰清掃 ボランティア	鳴子温泉南原地区穴堰水利用組合
5月		
6月	鬼首菜の播種活動	鳴子地区鬼首菜生産者
7月	フラワーサービスプロジェクト	
8月	「世界農業遺産」山形視察研修	山形県紅花振興協議会・河北べに花会
9月	大崎耕土を学ぶバスツアー	大崎市
10月	農業用ため池における生態系保全活動	NPO 法人シナイモツゴ郷の会
11月	鬼首菜の販売活動	鳴子地区鬼首菜生産者
12月	大崎耕土を学ぶバスツアー	大崎市
1月	大崎耕土講演会（農業用水管理について）	鳴子温泉南原地区穴堰水利用組合
2月		

3 「大崎耕土」関連学習（地域の伝統文化、食文化を学ぶ取組）

	内 容	連携・協力機関
3年	漆塗り体験	佐藤健夫漆工房
全校	校内学習発表会	

4 まとめ（新たな視点を次の活動へ）

これまでの取組が新聞やニュースなどの報道に取り上げられる機会は、自らの活動への評価となり自己有用感の醸成となっている。小規模校であることの利点をいかしながら、人とのかかわりを継続させた学習の機会が得られた。今後はさらに発展的に活動を展開し、様々な方面に効果を波及させることで「地域に貢献する人材を育成する」という本校の理念の具現化に努めていきたい。